

“5期へ” 大切なのは“経験と実績”

「もういいら!」という多選批判に答える!

◇「もういいら」って?、「これからが大切」なのではないでしょうか!

【飯田市の置かれている現状は】

- ☆リニアの道筋は、次の4年で決まります。
- ☆リニアは、国ではなく民間事業者JRが中心になって行う事業です。
- ☆交渉には、強い民間感覚の交渉力と物事をまとめる力量が必要です。
- ☆高額な事業費が必要で、経済感覚を持たないと飯田市を危うくします。
- ☆子どもたちの将来にツケを回してはいけません。



支援者から贈られた
貼り絵の似顔絵

【市長の役目は】

- ☆道なきところに道を開けることが、市長の役目です。
- ☆その為には、外に打って出て、国が何を考え、他地域の優れたリーダーがどうしようとしているかを見聞し、アンテナを高らかに掲げて行動するほうが飯田市のためになる。

【多選批判は、政策論争ではない】

- ☆1期でも多選でも、そこに政策上の問題があるかどうか問われるべきです。
- ☆牧野市政は、赤字続きの病院を黒字化し健全な医療体制を整え、市役所も建て替えた、天龍峡大橋の難しい舵取りも行った。信大の大学院を誘致した。
「地育力」から始まった「地域人教育」は全国のモデルとなった。産業の拠点「エス・バード」も完成させた。数えれば限りない難問を解決してきた。

【今、なさなければならぬ事は!】

- ☆4期があったからこそ、未来の飯田市の道筋を付けられる「あてにできる市長が育った」んです。
- ☆経験と実力の充分備わった、真面目と誠実が服を着て歩いているような「牧野市長」を支え、飯田市を安心して任すことのできる人にこそ任さなくてはなりません。



市長は国へ出張して市役所にいない？

＝市長が市役所にいるようでは飯田市が心配！＝

4月1日佐藤前副市長は、出馬表明の中で「牧野市長が全国市長会副会長や国の審議会といった重要な役割を担う一方で『市民との対話をする時間が欠けている』と指摘した。」（南信州新聞4/2日報道による）と報じられているがどうなんだろうか？



【市長は外に出て！】

☆市長の役目は、道なきところに道を開けるところに仕事がある筈です。

☆その為には、あらゆる所に出て行ってトップセールスをするべきです。

☆4期の様々な成果が、トップセールスの必要性を物語っている。

☆今は、木下副市長を先頭に職員の皆さんが市長の留守をしっかりと守ってくれています。

【市長は、ドンドン外に出られるような人物でなければ】

☆長野市でもない松本市でもない、小さな飯田市の市長が全国市長会の筆頭副会長というのは飯田市の誇りであり、そんな市長を持ったことを誇りたいと思います。

☆そして「エス・バード」に11億9,700万円もの交付金を誘導しました。

☆これからリニアの道筋をつけるには、専門家や有識者とのつながりが必要で、国の中枢にも働きかけられる牧野市長は、今しばらく大変だろうが頑張ってもらわなくては。

「パンフレット・ホームページ」完成

＝<https://powerapple.jp/>でアクセスしてください＝

